

令和8年度～令和17年度  
さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画（3期）

久米島

策定主体：久米島町さとうきび増産プロジェクト会議

#### 地域において目指す姿

さとうきび増産計画において、私たちの地域が目指す姿は、持続可能で競争力のある農業を実現し、地域経済の活性化と豊かな自然環境の保全を両立させることです。まず、優良品種の安定確保を通じて、高品質なさとうきび生産を推進します。次に、肥培管理や収穫作業などの農作業については、機械化やスマート農業技術を導入し、省力化と効率化を図ります。これにより、若い担い手や新規就農者も参入しやすくなり、地域全体で安定した生産基盤を築き上げることができます。最終的には、安全・安心なさとうきび製品を提供するとともに、地域の雇用創出と所得向上につなげ、多世代にわたる持続可能な発展を目指します。

増産計画目標

(1) 生産目標

		収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)			
		夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計
R6年産策定時		135	135	675	945	6.5	5.3	5.2	5.4	8,726	7,167	35,359	51,252
R8年産	目標	135	135	675	945	6.8	5.4	5.3	5.5	9,180	7,290	35,775	52,245
R9年産	目標	135	135	675	945	7	5.4	5.4	5.6	9,450	7,290	36,450	53,190
R10年産	目標	135	135	675	945	7.2	5.5	5.5	5.7	9,720	7,425	37,125	54,270
R17年産	目標	135	135	675	945	9.0	6.0	6.2	6.6	12,150	8,100	41,850	62,100

(2) 担い手育成目標

		区分	認定農業者			受託組織		大規模生産農家	
			認定農業者	受託組織	大規模生産農家	認定農業者	受託組織	大規模生産農家	
R6年度策定時			9	28	12				
R8年産	目標		10	29	13				
R9年産	目標		10	29	13				
R10年産	目標		11	30	14				
R17年産	目標		14	33	17				

※大規模農家（作経営規模が500a以上の農家）

(3) その他地域で独自に設定する目標

		-	-	-	-
R6年度策定時		-	-	-	-
R8年産	目標	-	-	-	-
R9年産	目標	-	-	-	-
R10年産	目標	-	-	-	-
R17年産	目標	-	-	-	-

(4) 分析と評価

① 2期計画で挙げた課題

- ・生産量および収穫面積の維持
- ・生産農家の高齢化および担い手不足
- ・収穫作業の機械化は推進したが、受託組織の育成が追い付いていない。
- ・収入保険制度への加入促進
- ・干ばつ時期によるかん水設備の整備
- ・機械化一貫作業体系の推進
- ・病害虫の防除
- ・防風林の整備
- ・品種の選定と化学肥料の選定

② ①で挙げた課題に対して解決に向け取り組んだ内容

- ・農家に対する農業保険の掛金助成
- ・給水設備の設置
- ・ハーベスタ導入支援及び農業機械士育成強化
- ・堆肥及び土壌改良材投入に対する補助
- ・メイチュウ類に対する防除費用助成、バッター斉防除

③ ①で挙げた課題のうち②により解決した課題

- ・機械収穫率の向上
- ・株出管理機の台数増

④ ①で挙げた課題のうち解決できなかった課題とその要因

- ・機械化一貫作業体系の推進に関して、オペレーターの高齢化、後継者・担い手不足により、収穫面積に対して機械台数が不足している。加えて、約半数のハーベスタが耐用年数を超過しているため、ハーベスタの新規導入や長寿命化が急務となっている。

⑤ 新たに生じた課題

- ・生産法人間での受託作業調整システムの確立
- ・スプリンクラー老朽化によるかん水不足
- ・ハーベスタの老朽化
- ・製糖副産物（トラッシュ・糖蜜・バカス）の有効利用
- ・除草管理の対策不足

⑥ 令和17年産目標に向けた現状評価及び見通し

令和6年産は、収穫面積85.9%、単収90.0%、生産量77.3%といずれも目標未達であった。生育初期から収穫期まで続いた干ばつ傾向が生育停滞を招いたことが主要因の一つである。一方、病害虫・干ばつ被害への対策としてセーフティネット基金事業の活用や、関係機関と連携したかん水作業の呼びかけを推進した結果、一定の効果は確認できたと考える。

本町では農業就業者の約8割がさとうきび生産に従事しているが、高齢化の進行に伴いハーベスタによる収穫作業の委託が年々増加している。しかし、収穫および収穫後管理に必要な機械の不足や担い手不足により、適期の栽培管理や収穫の受託が滞り、栽培農家戸数や植付・収穫面積の減少が続いている状況である。これらを踏まえ、新たな作業受委託体制の構築に加え、スマート農業技術を含む機械の積極的導入を進め、持続的な生産基盤の確立を図る方針である。

なお、生産量の確保・拡大については、生産面積の拡大に依存せず、単収の向上を軸に取り組みを強化する考えである。

(5) 地域重点事項（地域独自で取り組んでいる重点事項を記載）

- ・令和8年の夏植の単収を6.8t、収穫面積135haを目標に適期の植え付け作業推進（7～9月）及び適期な肥培管理を行う。
- ・作業受委託の調整の仕組みとしては、受託可能な個人業者へ作業依頼、募集を行う。
- ・スマート農業技術や収穫機械・管理作業機械の導入に向けて取り組む。
- ・牛ふん堆肥による土づくり、製糖副産物（トラッシュ・糖蜜・バカス）を活用し地域内で有機物を循環的に利用する。

(6) 以下の項目のうち重要（特に議論すべき）と考える項目を3つ程度選択して✓を入れて下さい。

**1 経営基盤の強化**

- 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保
- 農業共済制度への加入促進

**2 生産基盤の強化**

- 気象災害に強い生産基盤の整備
- 機械化一貫体系の確立
- 地力の増進

**3 技術対策**

- 病虫害防除
- 台風・干ばつ対策
- 優良品種の選択・普及

**4 その他（自由記述）**

  
  

※✓した項目については、OPの「～～」を作成する

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

① 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

【現状】

生産者の高齢化が顕著で、令和6年度の年齢階層別農家戸数は60～69歳が221戸（全体の約35%）、70歳以上が263戸（約42%）を占める。さとうきび生産に関する認定農業者は平成26年度以降増加傾向にあり、令和3年度には29名に達したが、令和6年度は24名へとわずかに減少した。生産法人の数は概ね横ばいで推移しており、作付（または経営）面積は近年200ヘクタールを上回り、全収穫面積の約20%を継続的に占めている。

	H26	R3	R4	R5	R6
認定農業者数	16名	29名	28名	28名	24名
生産法人数	8法人	8法人	8法人	8法人	8法人
生産法人面積		178ha	211ha	280ha	216ha
さとうきび収穫面積	953ha	910ha	971ha	950ha	945ha

【課題】

- ・生産者の高齢化および後継者手不足
- ・生産法人間での受託作業調整システムの確立
- ・国事業及び久米島製糖事業を活用した遊休地の解消
- ・収穫労働力を補うため手刈り班の設置

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・耕作放棄地は農地中間管理事業を活用し生産法人等へ農地集積を図る（久米島町役場）
- ・今後育成すべき農業経営体を中心に認定農業者へ誘導する（久米島町役場）
- ・法人の経営の安定、強化の支援（久米島さとうきび振興協議会）
- ・法人間で受託作業を調整するシステム構築を図る（久米島町役場・久米島製糖）
- ・一定の要件を満たす認定農業者や生産組織、受託組織などを「担い手」として位置づけ、組織化の促進を図る（久米島町役場）
- ・既存の受託組織の充実（久米島さとうきび振興協議会・久米島町役場・久米島製糖）
- ・認定農業者の育成（久米島町役場・久米島製糖）
- ・受託体制の強化（久米島さとうきび振興協議会・久米島町役場・久米島製糖）
- ・自家苗栽培の指導（久米島町役場・久米島製糖）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・収穫労働力を補うため手刈り班の設置
- ・農業機械士協議会等の活動を通じてオペレータの育成を推進する

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・受託体制の強化を図る
- ・令和7年3月に策定した地域計画を踏まえ、農地中間管理機構等を用いた農地集積を加速させ地域計画の更新を進め、さとうきびの担い手の育成・確保を図る

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### I 経営基盤の強化

#### ② 農業保険の加入促進

##### 【現状】

令和元年産から個人別危険段階共済掛金が導入され、農家ごとの営農技術や加入実績が掛金に反映される制度となった。しかし、小規模かつ兼業農家が多く、共済への意識が低いため、加入率は依然として低迷している。農業保険の加入促進のため、町の単独事業として農家の掛金への補助している。

##### <畑作物共済加入状況>

	H26年度		R5年度		R6年度	
	戸数	面積	戸数	面積	戸数	面積
有資格者	843	848	685	969.4	673	948.8
加入戸数	325	485.7	180	235.9	167	245.6
加入率 (%)	38.6	57.3	26.3	24.3	24.8	25.9

【課題】

- ・兼業農家が多く、共済への関心が低く、加入率が低迷している
- ・加入していた農家が、補償内容（8割補償）に対する不満で未加入となるケースが増えている

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・農家の掛け金の助成を実施（久米島町）
- ・共済制度の理解と加入について継続して啓発する

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・OCR調査時に、関係機関で連携して制度の理解を深めるための説明を行い、加入率向上に取り組む

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・青色申告している農家に対して、さとうきび共済・収入保険の両方について説明を行い、農家のニーズに応えるような推進を図る

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### 2 生産基盤の強化

#### ① 気象災害に強い生産基盤の整備

##### 【現状】

農業基盤整備の計画区域に係る整備実績は、おおむね達成している。灌漑設備が未整備の地域については、各種事業を活用し、灌水が可能となる体制を整備した。

農業基盤整備状況	H26年度	R4年度	R5年度	R6年度
水源整備率	56.4%	56.4%	56.4%	56.4%
ほ場整備率	82.9%	82.9%	82.9%	82.9%
灌漑施設	45.4%	45.4%	45.4%	45.4%

**【課題】**

- ・ 台風（塩害）被害後のかん水対策
- ・ スプリンクラー老朽化によるかん水不足

**【課題に対応した取組及びその実施者】**

- ・ スプリンクラーの有効利用（農家）
- ・ 給水設備の設置（久米島町役場）

**【計画】**

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・ 機械化におけた農地の集積・集約化

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 生産者が農薬散布や散水に利用する取水施設の設置（給水栓・給水所）

**【自由記述欄】** ※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### 2 生産基盤の強化

#### ② 機械化一貫体系の確立

##### 【現状】

農業人口の減少および高齢化に伴う労働力不足の下、持続的な農業生産体制の維持には、スマート農業技術を含む機械化一貫体系の推進による省力化・効率化が不可欠である。

特にハーベスタについては、機械収穫率は76.9%まで向上しているものの、機械台数は依然として収穫面積に対して不足している。加えて、約半数のハーベスタが耐用年数を超過し老朽化が顕著であることから、新規導入の促進および長寿命化対策の実施が急務である。

	H26	R3	R4	R5	R6
ハーベスタ台数	20	32	32	35	34
機械収穫率 (面積：%)	41.2	68.6	73.6	74.9	76.9
株出管理機台数	-	24	24	24	24
植付機台数	-	18	18	18	21

### 【課題】

- ・面積に対して、機械台数が不足している。加えて、約半数のハーベスタが耐用年数を超過しているため、ハーベスタの新規導入や長寿命化が急務となっている。
- ・オペレーターの高齢化、後継者・担い手不足による継承者の確保
- ・ハーベスタオペレーターと株出管理等トラクタオペレーターが同一のため、株出管理作業が遅れる地域がある
- ・ハーベスタ収穫と株出管理作業の一貫した作業を推進する。
- ・機械収穫率は、当初計画の目標を上回る達成率だが、機械化一貫体系の推進を加速させる必要がある
- ・作業受託組織体制の構築
- ・ハーベスタ収穫を希望する生産者の圃場ごとの作付状況および管理状態の勘案による圃場づくり提案
- ・ハーベスタ利用料金の事前算定、提案
- ・受託作業の進捗管理、反省・分析

### 【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ハーベスター導入等支援（久米島町役場）
- ・農業機械士(オペレーター)育成強化（農業機械士協議会）

### 【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ハーベスター新規導入及び長寿命化等の支援
- ・受託組織調整実務を担う人材による配置と、それを継続的に支える組織体制の構築及び連携の強化
- ・補助事業を活用し機械化一貫作業体系に必要な機械導入

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ハーベスター新規導入等支援
- ・補助事業を活用し機械化一貫作業体系に必要な機械導入
- ・受託組織調整実務を担う人材による配置と、それを継続的に支える組織体制の構築
- ・作業の省力化、効率化を図るためスマート農業機械の導入及び普及

### 【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

- ・補助事業予算枠の拡充と採択要件の緩和
- ・高齢農家に対する機械収穫利用料の助成
- ・さとうきび収益安定のための作付誘導支援

## 目標達成に向けた取組計画

### 2 生産基盤の強化

#### ③ 地力の増進

##### 【現状】

土づくりの推進および地力増進を図るため、土壌分析の実施に加え、町の単独事業として緑肥種子および堆肥購入に対する一部助成を実施している。併せて、地域内における有機物の循環的利用の観点から、土壌改良材として糖蜜やバガス等の製糖副産物の活用を検討している。他方、堆肥および緑肥の活用については、生産者の土づくりに対する意識が十分とはいえず、活用が進展しているとは言い難い状況にある。

##### <堆肥・緑肥投入の現状（R5）>

堆肥：77.ha（さとうきび生産性向上緊急支援事業での取組実績）

緑肥：16ha

**【課題】**

- ・簡易な土づくり対策として、緑肥、堆肥栽培は重要であるが、緑肥・堆肥の助成事業が、農家に十分活用されていない
- ・製糖副産物（トラッシュ・糖蜜・バカス）を活用した土作り支援

**【課題に対応した取組及びその実施者】**

- ・堆肥、緑肥の種子に対する補助（久米島町）
- ・製糖副産物（トラッシュ・糖蜜・バカス）を活用した、地域内における有機物の循環的利用（製糖工場、生産者）

**【計画】**

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・土壌診断に基づき、緑肥・堆肥の利用を促進し単収の増加を図る
- ・製糖副産物（トラッシュ・糖蜜・バカス）を活用し、地域内で有機物を循環的に利用する

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・堆肥センターを核にして、安定的な堆肥供給及び散布体制を構築し、計画的な土づくり、地力の向上を図る
- ・糖蜜散布車の導入

**【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等**

- ・製糖副産物（トラッシュ、糖蜜）を利用した土作りに必要な施設整備、運搬費及び作業費の補助

## 目標達成に向けた取組計画

### 3 技術対策

#### ① 病虫害防除

##### 【現状】

メイチュウ類による芯枯れ被害が頻発しており、病虫害発生予察注意報がほぼ毎年発表されている。直近の発表は、令和7年6月、令和6年6月、令和4年11月、令和3年1月、令和2年3月である。メイチュウ類に対しては、さとうきび増産基金事業等を活用し、各種防除を実施している。併せて、バッタ類による被害が散見されることから、各地区と連携の上、一斉防除を実施している。

##### 【課題】

- ・農薬等の資材価格高騰
- ・メイチュウ類の発生密度が高い地域において被害が多発している
- ・除草管理の対策不足

**【課題に対応した取組及びその実施者】**

- ・メイチュウ類に対する防除費用助成（久米島さとうきび振興協議会）
- ・バッタ類の一斉防除（久米島さとうきび振興協議会）
- ・除草剤購入費用の助成（久米島さとうきび振興協議会）

**【計画】**

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・講演会等で、雑草・病虫害防除の必要性を周知する
- ・各種事業を活用した雑草・病虫害防除費用の助成

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ドローン等を活用した雑草・病虫害防除の推進
- ・各種事業を活用した雑草・病虫害防除費用の助成

**【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等**

- ・農薬等の資材価格高騰に対する補助
- ・さとうきびにおけるドローンに適した農薬（除草剤、殺鼠剤等を含む）の登録拡充

## 目標達成に向けた取組計画

### 3 技術対策

#### ② 台風・干ばつ対策

##### 【現状】

台風対策として、「防風林の日」に関連するイベントを通じ、防風林の植栽および防災農業に関する普及啓発を実施している。

灌漑設備が未整備の地域においては、各種事業の活用によりかん水は可能となっているものの、費用負担が大きいとの生産者の受け止めが多く、積極的な利用には至っていない状況である。

農業基盤整備状況	H26年度	R4年度	R5年度	R6年度
水源整備率	56.4%	56.4%	56.4%	56.4%
ほ場整備率	82.9%	82.9%	82.9%	82.9%
灌漑施設	45.4%	45.4%	45.4%	45.4%

### 【課題】

- ・水源から各ほ場への距離があることで、かん水作業が負担となり、十分なかん水がされていない。
- ・かん水用資材として、タンク等整備を進めてきたが、水源や散布に係る経費が大きく、活用が少ない。
- ・生産者が農薬散布や散水に利用する取水施設の設置。（給水栓・給水所）
- ・狭い農道、山間部・急こう配の多い地区では、かん水タンクを積載したトラックの侵入が困難であり、かん水が十分に実施できていない。
- ・干ばつ時期の灌水施設の未利用・未使用がある。
- ・灌水施設の老朽化

### 【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・かん水事業による干ばつ対策の助成。（久米島町・久米島製糖）
- ・干ばつ時期に、防災行政無線などを通じて灌水の重要性を農家へ広報し、特に未利用・未使用の灌水施設の活用を促すための情報発信を行う（久米島町）
- ・2t車等の小型車料+タンク/ポンプ/ホース装置一式の導入検討（久米島製糖）

### 【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃実施する予定の取組を記載

- ・かん水事業による干ばつ対策の助成。
- ・灌水チューブ、保水剤等の補助
- ・かん水の重要性を周知

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・干ばつ時等に取水できる箇所確保を図る
- ・防風林による被害軽減効果についてPRし、防風防潮林の整備を継続して行う
- ・散水機材の導入
- ・2t車等の小型車両の導入（維持コストが低く、小圃場や細動でも出入りしやすいため、より多くの圃場に対応可能）

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

- ・灌水作業の機動性を重視した小型灌水機材整備支援

3 技術対策

③ 優良品種の選択・普及

【現状】

優良種苗安定確保事業を活用し、さとうきびにおける健全無病苗および新品種の普及を図っている。品種割合は、Ni27が最も高く62.6%を占め、次いで近年シェアが増加しているNi29が21.4%、反対に減少傾向にあるNi21が11.2%となっている。

	F 177	Ni 21	Ni 22	NiH 25	Ni 27	Ni 28	Ni 29	RK97- 14	その他
H30	0.4	33.6	1.6	1.4	45	3.5	7.3	1.3	6
R元	0.2	25.9	1	0.9	55.3	1.7	9.3	1.9	3.8
R2	0.1	19.5	0.4	0.6	64.5	1.2	9	1.8	2.9
R3	0.04	17.1	0.29	0.5	68.6	0.59	8.5	1.92	2.46
R4	-	14.9	0.2	0.5	68.3	0.5	12	1.3	2.3
R5	-	13	0.2	0.4	64.7	0.3	17.8	1.3	2.3
R6	-	11.2	0.2	0.3	62.6	0.3	21.4	1.4	2.6

【課題】

- ・ 品種構成の適正化
- ・ 機械収穫に適した品種の選定

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 無病健全な優良種苗の導入及び普及（久米島町・久米島製糖）
- ・ 関係期間で協議し検討（久米島町・久米島製糖）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・ 優良品種、新品種の模索・検討を継続的に行う。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 早期高糖品種や久米島の機械化に適した萌芽率の高い品種を検討し導入を推進する。

【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア要望等

—

重点課題における関係者の役割分担と実施状況

重点項目： 機械化一貫体系の確立

※令和7年度に3期目計画を立てる際は、右側の「今年度の具体的な取組計画」のみ記入。

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
久米島町					①補助事業の周知 ②補助申請書作成の補助 ③優先地区の選定	機械化の推進
普及センター					①補助事業の周知 ②補助申請書作成の補助 ③優先地区の選定	機械化の推進
JA					①補助事業の周知 ②補助申請書作成の補助 ③優先地区の選定	機械化の推進
久米島製糖工場					①補助事業の周知 ②補助申請書作成の補助 ③優先地区の選定	機械化の推進
久米島きび協					①補助事業の周知 ②補助申請書作成の補助 ③優先地区の選定	機械化の推進

重点項目： 地力の増進

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
久米島町					①町による単独補助	単収の増加
普及センター					①事業効果の検証指導	単収の増加
JA					①生産資材等提供	単収の増加
久米島製糖工場					①事業効果の検証指導 ②罎一キ、バガスの供給 ③糖蜜散布車、マニアスプレッターの導入による効率的な土作り	土壌物理性の改善
久米島きび協					①事業導入計画	単収の増加

重点項目： 病虫害防除

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
久米島町					雑草・病虫害防除対策の検討	病虫害防除の推進
普及センター					雑草・病虫害防除対策の検討及び指導	病虫害防除の推進
JA					雑草・病虫害防除対策の検討及び指導	病虫害防除の推進
久米島製糖工場					雑草・病虫害防除対策の検討及び指導	病虫害防除の推進
久米島きび協					雑草・病虫害防除対策の検討及び指導	病虫害防除の推進

さとうきび関係事業の活用実績（R7年度～）

【国補正事業（生産対策）】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
R6補正・3次公募	肥培管理対策：除草剤（センコル・カーメックス）	17,713,170	8,050,000	—

【セーフティネット事業】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
R7年度	かん水作業委託、かん水資材購入	1,980,000	900,000	1,399,200
R7年度	個別対策：病害虫（ダントツ粒剤・ダントツフロアブル・プレバソン粒剤・プリンスベイト・オンコルOK）	52,301,100	31,683,000	37,770,064

【実証・研究事業（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	取組内容	総事業費	補助金	その他
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

【機械導入（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	導入機械	総事業費	補助金	その他
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

【市町村単独事業】

事業年度	市町村名	事業名	取組内容	予算額	実績額
令和7年度	久米島町	農業振興事業	土づくり対策推進事業	2,500,000	—
令和7年度	久米島町	さとうきび農家等支援事業	単収向上及び機械化農業の推進を図る。	2,186,000	—

(参考情報①)

1. 県(島)の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

沖縄は農地が限られており、台風や干ばつの影響を受けやすい気候のため、比較的栽培が容易で収益性のある作物が重視されています。さとうきびは、そうした気候条件に強く、沖縄の主要な農産物として長年にわたり生産されてきました。県内の農業産出額の中で、さとうきびは重要な割合を占めています。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状 久米島の令和6/7年期におけるサトウキビ生産は収穫面積945ha、生産量51,252t、単収5,422kg、買入甘蔗糖度13.58度の実績であった。サトウキビは基幹作物として位置づけられてますが、農業離れや農業就労者の高齢化などから、生産量は減少傾向である。今後のサトウキビ振興にあたっては、単当たり収量の増大を基本に、機械化一貫体系の確率や経営規模拡大、高品質種苗の導入を推進するとともに、生産法人及び農作業受託組織の育成強化が課題である。

【近年の作物別作付面積の動向】

(1) 作物別作付け面積の動向

	耕地面積	作付面積	耕作放棄地	さとうきび	かんしょ	水稲	野菜	飼料作物	その他
H17	2,399	-	-	946	-	-	41	-	-
H18	2,399	-	-	1,044	-	-	39	-	-
H19	2,399	-	-	1,031	-	-	28	-	-
H20	1,908	-	-	935	-	-	34	-	-
H21	1,908	-	-	1,054	-	-	28	-	-
H22	1,908	-	-	1,068	-	-	24	-	-
H23	1,893	-	-	980	-	-	41	-	-
H24	1,893	-	-	949	-	-	42	-	-
H25	1,750	-	-	850	-	-	34	-	-
H26	1,717	-	-	952	-	-	30	-	-
H27	1,371	-	-	923	-	-	35	-	-
H28	1,366	-	-	907	-	-	40	-	-
H29	1,366	-	-	895	-	-	31	-	-
H30	-	-	-	920	-	-	-	-	-
R元	-	-	-	929	-	-	-	-	-
R2	-	-	-	981	-	-	-	-	-
R3	-	-	-	910	-	-	-	-	-
R4	1,329	-	-	971	-	-	-	-	-
R5	-	-	-	950	-	-	-	-	-
R6	-	-	-	945	-	-	-	-	-

(2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				糖度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	245	115	586	946	6.0	4.1	4.9	5.1	14,691	4,706	28,821	48,218	14.1
H18	341	149	555	1045	6.2	3.6	4.1	4.7	21,235	5,316	22,882	49,433	14.3
H19	260	118	653	1031	7.3	4.6	4.6	5.3	19,062	5,443	29,851	54,356	13.2
H20	201	98	637	936	9.4	7.3	6.4	7.2	18,808	7,165	41,047	67,020	14.2
H21	235	181	638	1054	8.8	5.8	5.9	6.5	20,781	10,500	37,489	68,770	14.7
H22	176	184	709	1069	7.9	5.3	5.4	5.8	13,870	9,779	38,148	61,797	14.1
H23	143	179	659	981	4.6	4.1	3.2	3.6	6,628	7,260	21,412	35,300	14.6
H24	192	185	572	949	5.7	3.3	3.9	4.2	10,965	6,187	22,284	39,436	13.5
H25	183	110	557	850	5.8	4.3	4.7	4.9	10,575	4,779	26,313	41,667	14.8
H26	258	124	570	952	6.3	4.0	4.4	4.9	16,189	4,963	25,124	46,276	13.8
H27	171	139	613	923	6.9	3.9	4.4	4.8	11,739	5,475	27,127	44,341	13.51
H28	195	112	600	907	7.8	5.9	5.6	6.1	15,204	6,658	33,325	55,187	13.69
H29	168	69	658	895	7.4	5.4	5.2	5.6	12,363	3,751	34,451	50,565	13.8
H30	168	136	616	920	8.1	5.4	5.5	6.0	13,667	7,321	33,830	54,818	13.28
R元	146	114	669	929	6.8	4.8	4.7	5.1	9,953	5,455	31,530	46,938	15.13
R2	177	150	654	981	6.7	4.3	4.7	5.0	11,857	6,451	30,856	49,164	15.16
R3	131	112	667	910	7.0	5.3	5.3	5.6	9,122	5,980	35,471	50,573	15.24
R4	203	106	662	971	6.3	4.9	5.3	5.5	12,886	5,246	35,259	53,391	14.07
R5	133	122	695	950	5.6	4.1	4.0	4.3	7,504	4,959	28,107	40,570	14.75
R6	135	135	675	945	6.5	5.3	5.2	5.4	8,726	7,167	35,359	51,252	13.58

(参考情報②)

【年齢階層別農家戸数】

	29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	合計
H17	—	—	—	—	—	—	0
H18	—	—	—	—	—	—	0
H19	6	28	121	230	277	—	662
H20	5	19	109	231	306	—	670
H21	7	24	114	251	347	—	743
H22	6	29	118	236	378	—	767
H23	5	27	98	251	417	—	798
H24	8	39	102	260	476	—	885
H25	7	35	88	236	492	—	858
H26	8	32	71	230	495	—	836
H27	10	46	81	114	275	310	836
H28	9	48	72	101	261	295	786
H29	11	51	63	91	255	289	760
H30	15	54	51	84	248	293	745
R元	14	51	53	80	250	286	734
R2	16	53	55	87	251	296	758
R3	16	40	50	81	241	289	717
R4	14	34	52	79	239	283	701
R5	15	32	48	77	236	279	687
R6	10	25	43	71	221	263	633

【経営（収穫）規模別農家戸数】

	100a未満	100~300a 未満	300~500a 未満	500a以上	合計
H17	701	309	12	9	1031
H18	692	333	18	9	1052
H19	635	334	13	11	993
H20	495	383	39	16	933
H21	558	364	16	14	952
H22	534	360	33	15	942
H23	556	343	11	14	924
H24	470	382	38	20	910
H25	550	280	12	9	851
H26	452	350	38	12	852
H27	438	349	38	11	836
H28	417	322	35	12	786
H29	475	252	24	9	760
H30	455	253	20	17	745
R元	442	254	28	10	734
R2	639	103	8	8	758
R3	422	252	25	18	717
R4	397	256	28	20	701
R5	595	78	14	0	687
R6	500	113	8	12	633

【製糖工場の操業状況】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)
H17	60.27	84	11.77	5.19
H18	61.79	84	12.19	7.61
H19	67.95	82	11.32	7.37
H20	83.78	93	12	6.17
H21	85.96	90	12.19	7.18
H22	77.25	92	11.82	7.95
H23	44.12	79	12.31	11.06
H24	49.3	71	11.37	6.41
H25	52.08	69	12.14	6.77
H26	57.85	71	11.52	7.53
H27	54.43	78	11.45	9.19
H28	68.98	85	11.34	8.29
H29	63.21	89	11.05	7.95
H30	68.52	92	10.43	10.35
R元	58.67	97	12.15	10.14
R2	61.5	123	10.63	9.92
R3	63.21	99	12.26	11.92
R4	66.73	99	11.91	12.07
R5	50.71	100	11.8	14.75
R6	53.8	119	11.6	13

(参考情報③)

【作業受託組織の状況】

	農作業受託組織数			農作業受託調整組織の有無と役割		
	合計	組織	個人	有無	名称	役割
R7	29	25	4	無	—	—

【作業委託料金】

作業名	料金	料金の設定方法及び島内の料金体系	備考
収穫	6,000円/ t	料金の設定については各受託組織（法人等）で設定 ※おおよそ、左記の料金で作業している法人が多い	—
植付	6,200円/1h	料金の設定については各受託組織（法人等）で設定 ※おおよそ、左記の料金で作業している法人が多い	—
株出管理	8,800円 /10a	料金の設定については各受託組織（法人等）で設定 ※おおよそ、左記の料金で作業している法人が多い	—
防除	0	—	—
その他（キビ搬出等）	800円/ t	料金の設定については各受託組織（法人等）で設定 ※おおよそ、左記の料金で作業している法人が多い	—

(参考情報④)

【畑地かんがいの整備状況】

	貯水施設		畑地かんがい 整備率	かん水方法			畑地かんがい整備の現状と 整備率向上に向けた今後の取組
				形態	使用料金	使用条件等	
R7	地下ダム	カンジン地下ダム	45.4%	I型 II型 III型	圃場面積算出	無	久米島町の農業整備の状況は、圃場整備83%、水源整備56.4%、かんがい施設整備45.4%となっている。整備率向上に向けた取組として計画的な基盤整備の推進を図る。
	ダム	-					
	ため池	白瀬1号 白瀬2号 白瀬1号 白瀬2号 ふさきな 銭田 山城 スハラ					
	その他	-					

(参考情報⑤)

【共済加入目標】

	H26	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	825	673	685	685	685	685	-
加入戸数	287	167	274	202	212	223	-
戸数引受率	34.8%	24.8%	40.0%	29.5%	31.0%	32.5%	-
対象面積(ha)	950.7	948.8	969.4	969.4	969.4	969.4	-
引受面積(ha)	443	245.6	446.9	354.8	358.7	368.4	-
面積引受率	46.7%	25.9%	46.1%	36.6%	37.0%	38.0%	-
支払金額	29,215千円	-	-	-	-	-	-

【収入保険制度への加入目標】

	H30	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	726	673	673	673	673	673	-
加入戸数	8	26	27	27	27	28	-
引受面積(ha)	15.7	110.2	113.4	114.4	114.4	116.3	-
面積加入率	1.7	11.6%	11.7%	11.8%	11.8%	12.0%	-

(参考情報⑥)

【作型別割合】

	夏植	春植	株出し
H17	25.9%	12.2%	61.9%
H18	32.6%	14.3%	53.1%
H19	25.2%	11.4%	63.3%
H20	21.5%	10.5%	68.1%
H21	22.3%	17.2%	60.5%
H22	16.5%	17.2%	66.3%
H23	14.6%	18.2%	67.2%
H24	20.2%	19.5%	60.3%
H25	21.5%	12.9%	65.5%
H26	27.1%	13.0%	59.9%
H27	18.5%	15.1%	66.4%
H28	21.5%	12.3%	66.2%
H29	18.8%	7.7%	73.5%
H30	18.3%	14.8%	67.0%
R元	15.7%	12.3%	72.0%
R2	18.0%	15.3%	66.7%
R3	14.4%	12.3%	73.3%
R4	20.9%	10.9%	68.2%
R5	14.0%	12.8%	73.2%
R6	14.3%	14.3%	71.4%
R17(目標)	14.0%	11.6%	74.4%

【株出し回数別面積】

	株出し回数別面積 (ha)										平均回数
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	
H17	313.0	163.0	83.0	20.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
H18	340.0	134.0	59.0	19.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
H19	297.0	183.0	110.0	33.0	17.0	5.0	9.0	0.0	0.0	0.0	2.0
H20	285.0	150.0	112.0	52.0	19.0	9.0	10.0	0.0	0.0	0.0	2.1
H21	278.0	214.0	73.0	42.0	17.0	6.0	9.0	0.0	0.0	0.0	2.0
H22	368.0	167.0	116.0	25.0	17.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	1.9
H23	312.0	206.0	76.0	38.0	14.0	8.0	6.0	0.0	0.0	0.0	1.9
H24	315.0	139.0	78.0	27.0	8.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.8
H25	310.0	132.0	72.0	27.0	10.0	4.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.8
H26	265.4	148.4	85.1	42.6	23.8	4.4	0.5	0.0	0.0	0.0	2.0
H27	304.5	186.9	65.5	37.3	14.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
H28	309.8	166.7	80.3	31.4	10.6	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
H29	286.7	196.5	104.8	36.7	21.4	9.1	3.1	0.0	0.0	0.0	2.0
H30	267.9	184.6	97.8	34.5	19.7	8.7	3.0	0.0	0.0	0.0	2.0
R元	316.0	189.0	97.0	36.0	19.0	9.0	3.0	0.0	0.0	0.0	1.9
R2	350.0	194.0	84.0	24.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
R3	340.1	193.6	104.5	28.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
R4	255.6	238.4	109.7	41.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
R5	295.2	166.2	130.2	53.5	50.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
R6	263.5	208.9	116.9	53.7	27.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
R17	263.5	208.9	116.9	53.7	27.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1

(参考情報⑦)

【近年の品種別収穫面積の推移】

作型	夏植						春植						株出し						合計					
	Ni 21	Ni 22	Ni 27	Ni 29	RK 97- 14	その他	Ni 21	Ni 22	Ni 27	Ni 29	RK 97- 14	その他	Ni 21	Ni 22	Ni 27	Ni 29	RK 97- 14	その他	Ni 21	Ni 22	Ni 27	Ni 29	RK 97- 14	その他
H17	0	0	0	0	0	245.0	0	0	0	0	0	115.0	0	0	0	0	0	586.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	946.0
H18	0	0	0	0	0	340.0	0	0	0	0	0	149.0	0	0	0	0	0	555.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1044.0
H19	0	0	0	0	0	260.0	0	0	0	0	0	118.0	0	0	0	0	0	653.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1031.0
H20	106	0	0	0	0	95.0	59	0	0	0	0	39.0	149	0	0	0	0	488.0	314.0	0.0	0.0	0.0	0.0	622.0
H21	125	0	0	0	0	110.0	137	0	0	0	0	44.0	274	0	0	0	0	364.0	536.0	0.0	0.0	0.0	0.0	518.0
H22	121	0	0	0	0	55.0	164	0	0	0	0	20.0	411	0	0	0	0	298.0	696.0	0.0	0.0	0.0	0.0	373.0
H23	101	0	0	0	0	42.0	145	0	0	0	0	34.0	464	0	0	0	0	195.0	710.0	0.0	0.0	0.0	0.0	271.0
H24	128	40	0	0	0	24.0	152	8	0	0	0	25.0	443	22	0	0	0	107.0	723.0	70.0	0.0	0.0	0.0	156.0
H25	104	10	6	0	0	63.0	77	9	2	0	0	22.0	433	41	5	0	0	78.0	614.0	60.0	13.0	0.0	0.0	163.0
H26	132.6	21.8	17.6	2.4	0.0	83.7	91.6	3.3	3.6	0.0	0.0	25.8	403.2	28.9	19.6	0.0	0.0	118.4	627.4	54.0	40.8	2.4	0.0	228.0
H27	71.6	7.9	54.8	3.8	0.0	33.3	56.2	4.2	41.2	2.6	0.0	35.1	390.3	32.6	38.9	1.6	0.0	149.4	518.1	44.7	134.9	8.0	0.0	217.8
H28	76.7	6.3	71.5	4.8	0.0	35.4	29.1	3.8	52.1	6.4	0.0	20.3	349.7	27.7	106.8	7.8	0.0	108.2	455.5	37.8	230.4	19.1	0.0	163.8
H29	57.7	6.4	67.1	10.1	0.0	26.5	23.4	0.9	26.3	9.4	0.0	9.1	316.0	20.5	199.6	18.8	0.0	103.4	397.0	27.9	293.0	38.4	0.0	138.9
H30	35.3	1.8	97.6	17.3	0.0	16.6	24.9	0.0	84.0	16.1	0.0	11.1	248.8	13.3	232.6	33.4	0.0	88.0	309.0	15.1	414.2	66.8	0.0	115.6
R元	37.8	1.5	80.7	13.6	0.0	12.4	29.5	1.1	63.0	10.6	0.0	9.7	173.3	6.7	370.0	62.2	0.0	56.9	240.6	9.3	513.7	86.4	0.0	79.0
R2	34.5	7.1	94.2	15.9	3.2	22.1	29.3	6.0	96.8	13.5	0.0	4.5	127.5	26.2	421.8	58.9	11.8	7.8	191.3	39.2	612.8	88.3	15.0	34.5
R3	21.5	0.0	94.9	6.8	2.5	5.3	11.4	0.0	80.7	12.2	2.4	5.1	122.4	2.6	448.7	58.5	12.6	21.9	155.2	2.6	624.4	77.5	17.5	32.3
R4	27.7	0.5	130.8	35.1	1.6	6.9	13.4	0.7	64.2	26.0	0.9	1.0	103.6	0.6	468.4	55.7	9.7	24.0	144.7	1.7	663.4	116.8	12.2	32.0
R5	11.6	0.0	44.7	1.7	1.5	0.1	6.8	0.0	36.9	7.4	1.1	1.8	52.9	0.8	202.0	11.4	2.3	2.5	71.3	0.8	283.6	20.5	4.9	4.3
R6	16.7	0.1	84.0	24.6	1.7	7.9	10.8	0.2	88.4	27.6	1.4	6.9	73.3	1.9	419.1	149.6	10.0	21.2	105.8	2.2	591.4	201.9	13.0	31.1